

令和6年度

介護保険における生活支援体制整備推進のための研修

報 告

岩沼市社会福祉協議会 地域福祉課

第1層生活支援コーディネーター 浅野 亜由美

皆さんにお伝えしたいこと

- 1 地域包括支援センターの職員として感じていたこと
- 2 第1層SCの業務の中で感じていたこと
- 3 今回の研修を受講して理解したこと
- 4 これからSCとして何をしていくか
- 5 SCとして市町村に望むこと

1 地域包括支援センターの職員として 感じていたこと

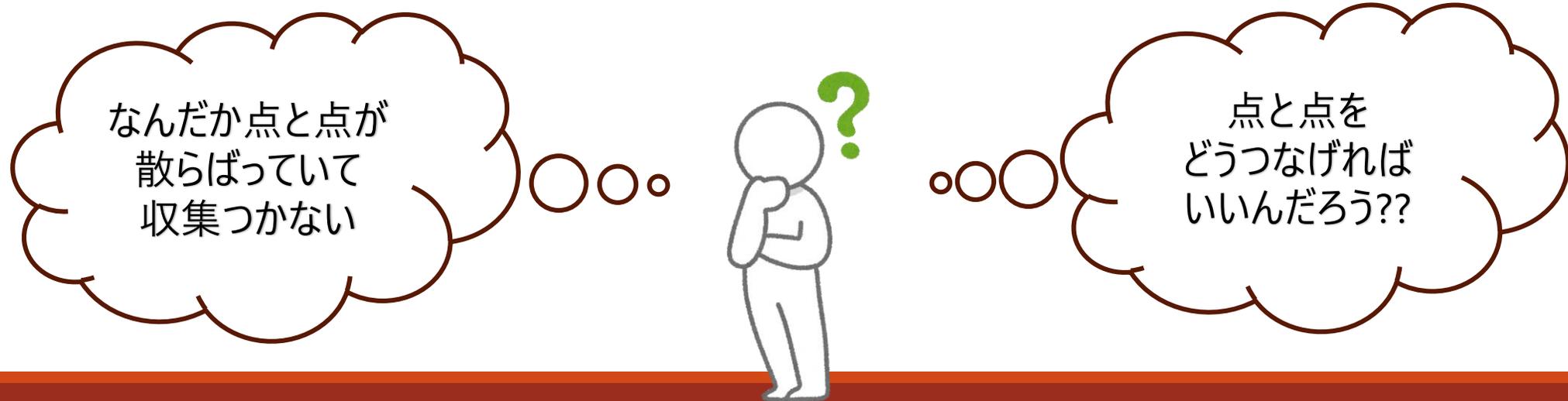
- ◎ 包括での業務はいろいろな場面で生活支援体制整備事業と関連している
- ◎ でも地域づくりって何から始めればいいのか分からない
- ◎ やらなければいけないけど、他の業務が忙しすぎて手を付けられない

✿ どんな場面で感じていたか…

- ・ 介入した時点ではかなり重度化していた
 - ↳ 誰かとつながっていれば、もっと早く介入できれば、こんなにひどくならなかったのに
- ・ 個人商店同士がつながって、配達の仕事作れないかな…
- ・ 施設に空いている部屋で何かできないかな？
 - お風呂を使っていない時間に貸してもらえないかな？

2 第1層S Cの業務の中で感じていたこと

- ◎ 第2層S Cはこんなに情報を持っていて、こんなにつながっているのに、成果につながらないのはなんでだろう？
- ◎ 企業とも関わった方がいいんだろうけど、何を目的に関わればいいのか？
- ◎ こんな（資源）があったらいいけど、誰が利用するんだろう



3 今回の研修を受講して理解したこと

- ◎ 第2層SCも個別の支援をする
- ◎ これまで活動してきた中で得たネットワークを活用し、資源とフレイル（要支援）の方のニーズをつないでいく作業をする
- ◎ 民間企業を含む多様な主体との連携 = 住民主体限定ではない
- ◎ 協議体 = SCの組織的な補完
協議体はSCがやりたいことを実現するために手助けしてくれる場

4 これからSCとして何をしていくか

★ 第1層SCは第2層SCがマッチングできるように支援



↳活動のメインは第2層SC

マッチングするためには、まずはニーズの把握

★ ニーズ把握の方法を検討

例えば・・・高齢者は何に困って包括に相談に来たのか？

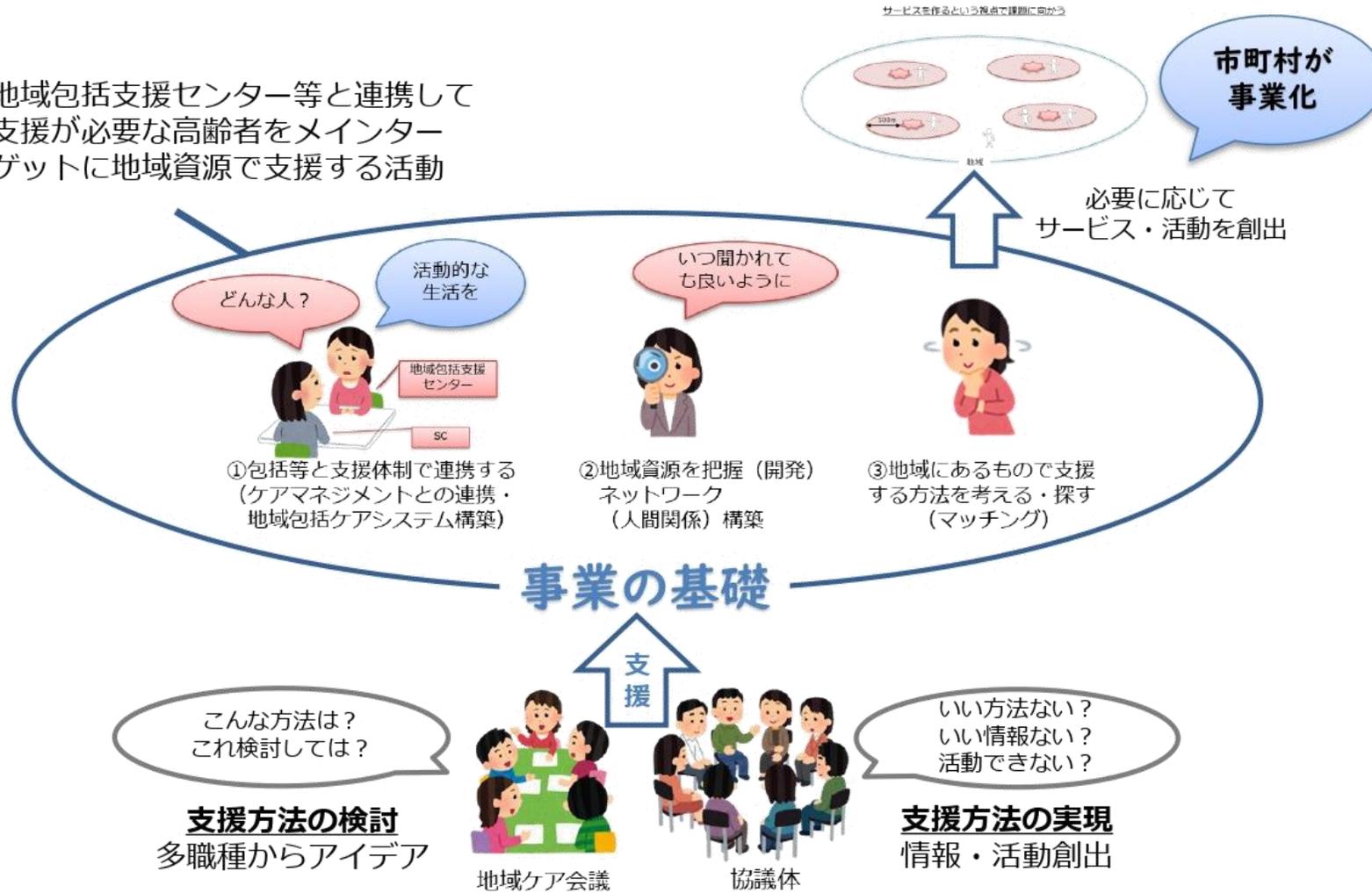


総合事業の中の多様な主体にどうつなげていくか

選択肢（多様な主体）を増やしていくことで高齢者の生活が豊かになり、包括やケアマネジャーも頼れる場所が増えるから楽になる

生活支援体制整備事業の構造

地域包括支援センター等と連携して
支援が必要な高齢者をメインター
ゲットに地域資源で支援する活動



5 SCとして市町村に望むこと

SCは市町村が目指す姿に向かって業務を行う

↳何をどう目指すかという方向性の確認 = 目標設定

↳途中経過の確認 = 評価、修正

情報を共有し、一緒に作業する、一緒に進めていく

ご清聴ありがとうございました

